



発電所見学&勉強会「エネルギーセミナー」開催！

エネルギーミックスで未来を守ろう

私たちの生活に欠かせないエネルギーを取り巻く課題について知識と理解を深めてもらおうと、assh読者を対象にした東北エネルギー懇談会による「エネルギーセミナー」が、9/8(木)に開催されました。発電所の見学もできるツアー仕立てのセミナーとは？当日の様子をのぞいてみましょう。



阿賀町豊実にある東北電力(株)豊実ダム。右は豊実発電所で、最大出力は61,800キロワット。左は第二豊実発電所で、最大出力は57,100キロワット

発電所見学

二酸化炭素を排出しない発電 ～水力発電所と太陽光発電所へ～

今年の夏は節電が呼びかけられたり、各種エネルギー価格の上昇が報じられるなど、例年以上にエネルギーに関して注目が集まった。今回のセミナーには、「昨年より電気料金が上がっていることに驚きエネルギーについて知りたいと思った」「地球温暖化対策に



豊実発電所ではダムの構造も見学。阿賀野川を遡上(そじょう)する魚のための「魚道」も設けられていると知り、「90年前から環境を考えて作られているんですね」と感心しきりの様子

興味がある」など、それぞれエネルギーに高い関心を持つ5人の読者が参加してくれた。

当日の午前の部では、まず二酸化炭素を排出しない発電所を見学。最初に訪れたのは阿賀町にある豊実発電所。1929(昭和4)年から90年以上稼働している東北電力の水力発電所だ。豊実発電所では、ダムに貯めた水を取水口から内部へ引き込み、約25メートルの高さから下へ流れ落ちる力で水車を回して発電する、との説明を受けると、参加者からは「ダムを外から見たことはあっても、構造や発電の仕組みは初めて知りました」との声が。職員からは「冬は雪深く大変ですが、先輩からの“雪は白い石炭。豊かな雪解け水のおかげで発電ができるのだから”という言葉を受け継いで仕事に向かっています」との話もあった。「自然の力を利用した発電は環境に良い反面、雨量で調節が必要だったり、設置場所が限られるなど大変なこともあると分かりました」と、見学を終えて皆満足した様子だった。

続いて訪れたのは、阿賀野市にある新潟東部太陽光発電所。新潟県企業局が低炭素社会の実現に向



(左)豊実発電所は2013(平成25)年に改修され、水車の型式が変わって発電効率がアップ。(右)普段は会津若松市にある水力運用センターから遠隔で運転・監視が行われている



阿賀野市の新潟東部太陽光発電所。1、2号系列は最大出力各1,000キロワット、3号系列は15,000キロワット。つくった電気は東北電力に売電されている

けた事業の一環として設置しているもので、産業団地内の「風の丘公園」からは、51ヘクタール余りの広大な敷地一面に太陽光発電パネルが立ち並ぶ様子が見える。発電量がリアルタイムで確認できる表示板も設置されており、皆は興味深そうに見学していた。

エネルギー勉強会・座談会

日本にとっての最適は？ 電力のベストミックスを考えよう

午後の部では、東北エネルギー懇談会の相澤敏也専務理事が「エネルギー問題を考えるいくつかの視点について」と題して講話。

「エネルギーは安全を大前提として、安定供給・経済性・環境への適合という三つのポイントを満たすことが求められます。そして、火力発電、原子力発電、再生可能エネルギーにはそれぞれにメリットとデメリットがあります。脱炭素社会を目指しながら、エネルギーの安定供給と経済効率性を求めていくためには、全てのエネルギーを選択して、日本にとっての最適な組み合わせ、ベストミックスを構築していくことが大切です」と語った。

さらに、最近のエネルギー価格の上昇要因や、日本の再生可能エネルギーを取り巻く状況、およびを進めるための固定価格買い取り制度で国民が負担している賦課金などについても解説してくれた。

続く座談会では、参加者からの質問に相澤氏が回



講師の相澤敏也さん。参加者からの質問一つ一つに、丁寧に答えていた

答。「中学生の娘から『電気自動車は二酸化炭素を出さないけれど電気を使う。その電気が火力発電所から来ているなら、本当に環境に優しいの?』と聞かれて答えに困った」という参加者には、「鋭い娘さんですね。例えば家に太陽光発電パネルを付けて、そこからだけ車の充電をすれば、クリーンエネルギーと言えます。しかし、夜間は発電しないなど、使いたいときに車が使えなければ不便かもしれませんね。エネルギー問題はそれぞれの背景まで考える必要があります」と話し、皆うなずいていた。

最後に「エネルギーはみなさんの生活に直結するもの。一人一人に関心を持っていただき、自分のこととして考えていくことが、わが国にとってのエネルギーベストミックスを構築することにつながっていくと思います」と締めくくり、セミナーは終了した。



お茶やお菓子を食べながらの座談会。皆互いの話に耳を傾け、自分が使うエネルギーについて考えていた

教えてエネルギーのこと

Q.再生可能エネルギーの中でも太陽光発電だけが急激に伸びているのはなぜ?

A.再生可能エネルギーには風力や地熱、バイオマスなどもありますが、一番手軽に参入できるのが太陽光。土地さえあれば、パネル購入と比較的短い工事期間で設置できます。固定価格買い取り制度導入の2012年以降は、急激に増加しています。

Q.水素燃料はもっと活用できないの?

A.新時代のエネルギーとして注目される、燃やしても水しか排出しないクリーンな水素を活用する技術は進んできていますが、課題はその水素をどうやって作り、運ぶか。経済的な価格で安定して水素を供給するためには、技術開発が待たれるところです。

アンケートに答えてQUOカードを当てよう!

東北エネルギー懇談会のホームページアドレスにアクセスし、簡単なアンケートに答えると抽選で10人にQUOカード(3,000円分)がプレゼントされる。また、アンケートに答えてくれた方全員に東北エネルギー懇談会制作の冊子「エネルギーのミカタ」をプレゼント。ぜひQRからアクセスを!!



締め切り:10/31(月)



東北エネルギー懇談会

住 仙台市青葉区中央2丁目8-13 大和証券仙台ビル10階
電 022(267)0021
https://www.t-enecon.com

東北エネルギー懇談会 新潟事務所

住 新潟市中央区東大通2丁目1-20 ステーションプラザ新潟ビル202号室
電 025(256)8473



相澤さんのお話、すごく分かりやすいですね～!

明るく場を和ませてくれた、司会のフリーアナウンサー湯浅みわさん。参加者もリラックスした様子で、会話も弾む